

大野町 東 部 地 区

青丸⇒豊後大野市の平均と比較して結果がよかった項目（点線は少しよかった項目）

赤丸⇒豊後大野市の平均と比較して心配な項目（点線は少し悪かった項目）



人 口

◆人口・世帯数

人 口 661 人
世帯数 285 世帯



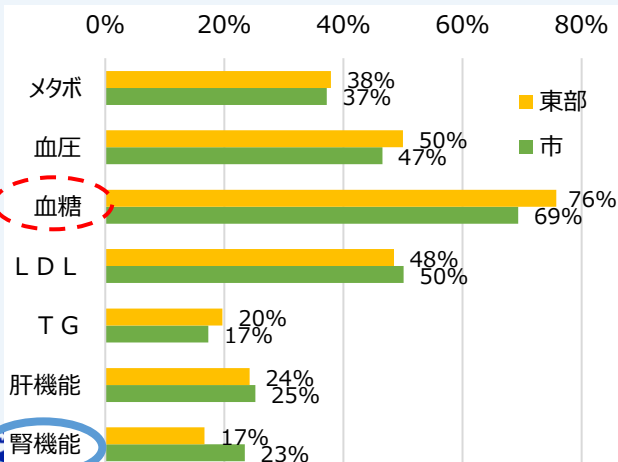
◆人口に占める高齢者の割合

65 歳以上 59.0% (市全体 44.6%)
75 歳以上 32.8% (市全体 25.6%)

豊後大野市内の 25 地区のうち、人口は 10 番目に少なく、高齢化率は 8 番目に高い地域です。

健 診 〈国民健康保険：40 歳～74 歳〉

◆健診有所見率(n=66)



市平均 44.1%

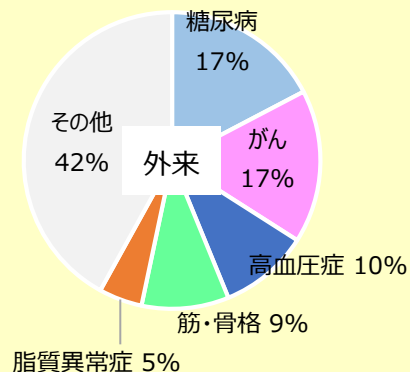
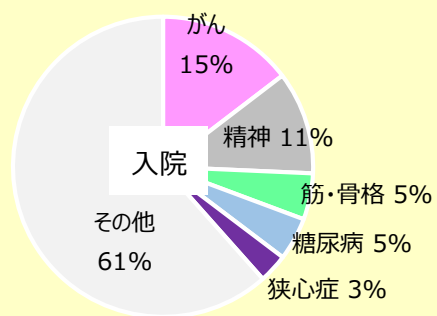
健診受診率 36.5% (市内 25 地域中 19 番目)

◆生活習慣（健診時の質問票より）(n=66)

	東部	市
たばこを吸っている	20.9%	12.2%
20 歳時体重から 10kg 以上増加	36.5%	33.3%
人と比べて歩くのが遅い	66.7%	63.0%
人と比べて食べる速度が速い	23.8%	27.4%
間食を毎日とっている	15.9%	17.1%
週 3 回以上朝食を抜くことがある	7.9%	5.6%
お酒を毎日飲んでいる	30.2%	26.0%
睡眠が十分とれていない	39.7%	27.3%

医 療 〈国民健康保険：40 歳～74 歳 (n=188)〉

◆医療費に占める疾患の割合



入院、外来医療費ともに糖尿病が上位にあがってきています。

適切な治療で血糖や血圧、コレステロールを適切にコントロールして、狭心症などの重症化を予防することが大切です。

健診結果から、腎機能が悪い人の割合が市の平均よりも低くなっています。また、血糖値が高い人の割合が市の平均より少し高いようです。

健診時の質問票では、「たばこを吸っている」「週 3 回以上朝食を抜くことがある」「睡眠が十分とれていない」と回答した人の割合が高いようです。

朝食を抜く生活習慣は、血糖コントロールの悪化につながります。また、喫煙動脈硬化を悪化させ、狭心症を招く原因になります。

自分の体の変化に気づくためにも、毎年健診を受けましょう！



健診

〈後期高齢者医療保険：75歳以上〉

健診受診率 22.4% (市内25地域中15番目)

◆生活習慣 (健診時の質問票より) (n=47) 市平均 21.6%

	東部	市
健康状態がよくない・あまりよくない	17.0%	10.3%
お茶や汁物等でむせる	23.4%	21.2%
6ヶ月で2~3kg以上の体重減少あり	17.0%	12.4%
以前に比べて歩く速度が遅い	70.2%	60.3%
この1年に転倒あり	29.8%	19.6%
ウォーキングなどの運動習慣あり	59.6%	61.6%
同じことを聞くなど物忘れあり	12.8%	15.6%
週に1回以上の外出あり	89.4%	89.5%

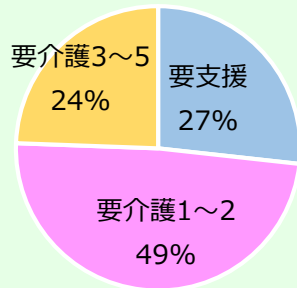
介護

(65歳以上)

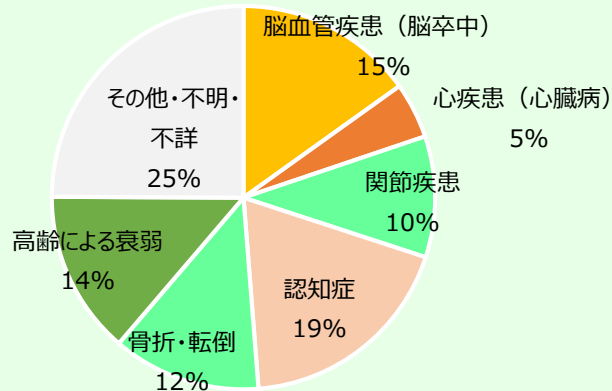
◆介護保険の認定を受けている人の割合

市平均 20.8%

22.1% (市内25地域中13番目)



◆介護が必要となった主な原因 (全国統計)

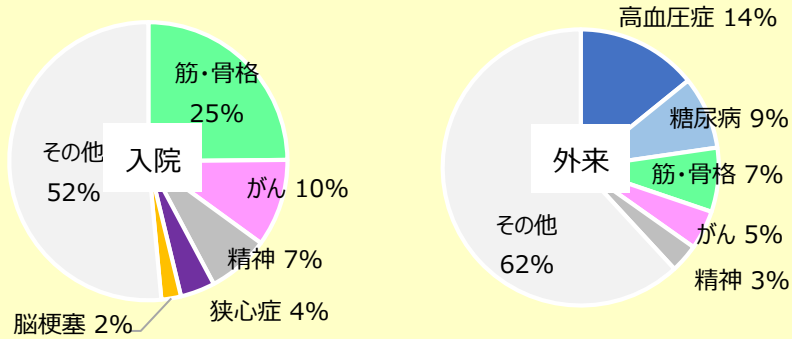


資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成28年)

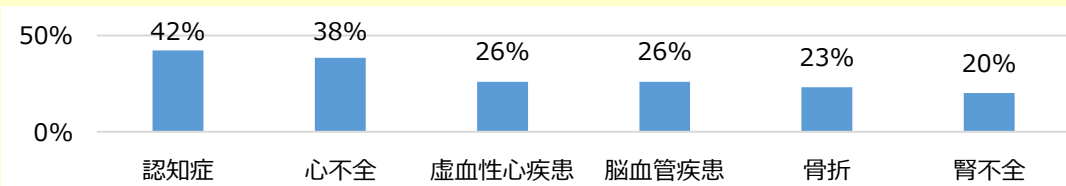
医療

〈後期高齢者医療保険：75歳以上〉(n=217)

◆医療費に占める疾患の割合



◆介護認定を受けている方が罹っている疾患



入院医療費では、関節症や腰痛、骨粗鬆症を含む筋・骨格疾患が2割を占めています。筋・骨格疾患の予防は介護予防にもつながりますので、食事や運動に気をつけてください。



ワンポイントアドバイス!

～低栄養予防～

低栄養状態が続くと、体の筋肉が落ちるだけでなく、認知症や脳卒中、心筋梗塞の恐れアップ!

1. 1日3食しっかり食べる
2. 毎日バランスよく食べる (主食・主菜・副菜) (特にタンパク質を意識して!)
3. 自分にあった運動を見つけ、こまめに体を動かす



【参考資料】 人口・介護) 令和4年3月31日時点データより (高齢者福祉課作成)
 介護度別疾病状況: DHPシステム 高齢者フレイル経年票 (令和3年度)
 医療) MAPシステム疾病分類別医療費分析～生活習慣病分類～ (令和3年度抽出)

健診) 健診有所見: KDBシステム保健事業介入支援管理～健診受診あり～ (令和3年度抽出)
 生活習慣: MAPシステム質問票調査の状況 (項目別) (令和3年度抽出)

令和4年12月 豊後大野市役所市民生活課健康推進室 作成